

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29年 4 月度）

対象期間： 平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 4 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 28 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃 油	43 (kl/月)
	廃 酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	420 (kg/月)
	木くず	22,400 (kg/月)
	繊維くず	1,400 (kg/月)
	金属くず	4,170 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	780 (kg/月)
	一般ごみ	38,500 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29年 4月 6	平成 29年 4月 6	平成 29年 4月 6日
測定結果	866℃	184℃	17ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1回/年 以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29年 5 月度）

対象期間： 平成 29 年 5 月 1 日～ 29 年 5 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 23 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃 油	35 (kl/月)
	廃 酸	- (kl/月)
	廃アルカリ	- (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	- (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	- (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	- (kl/月)
一般廃棄物	廃液	- (t/月)
	紙くず	345 (kg/月)
	木くず	18,400 (kg/月)
	繊維くず	1,150 (kg/月)
	金属くず	3,358 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	675 (kg/月)
	一般ごみ	31,625 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成29年 5月 7日	平成29年 5月 7日	平成29年 5月 7日
測定結果	910℃	171℃	11ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物 (v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1回/年 以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しゃく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29 年 6 月度）

対象期間： 平成 29 年 6 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 30 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量	(単位)
産業廃棄物	廃油	47	(kl/月)
	廃酸	—	(kl/月)
	廃アルカリ	—	(kl/月)
	廃プラスチック	0	(kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	—	(kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	—	(kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	—	(kl/月)
一般廃棄物	廃液	—	(t/月)
	紙くず	450	(kg/月)
	木くず	9,000	(kg/月)
	繊維くず	1,500	(kg/月)
	金属くず	4,573	(kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	998	(kg/月)
	一般ごみ	26,250	(kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29 年 6 月 5 日	平成 29 年 6 月 5 日	平成 29 年 6 月 5 日
測定結果	914℃	166℃	52ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

	6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)		
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しゃく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29 年 7 月度）

対象期間： 平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 28 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	43 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	600 (kg/月)
	木くず	8,400 (kg/月)
	繊維くず	1,400 (kg/月)
	金属くず	4,099 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	1,125 (kg/月)
	一般ごみ	24,680 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29 年 7 月 2 日	平成 29 年 7 月 2 日	平成 29 年 7 月 2 日
測定結果	860℃	168℃	88ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29 年 8 月度）

対象期間： 平成 29 年 8 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 24 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	36 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	360 (kg/月)
	木くず	7,200 (kg/月)
	繊維くず	1,200 (kg/月)
	金属くず	3,477 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	780 (kg/月)
	一般ごみ	21,000 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 29 年 8 月 30	平成 29 年 8 月 30 日	平成 29 年 8 月 30 日
測定結果	941℃	171℃	20ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29年 9月度）

対象期間： 平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 30 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量	(単位)
産業廃棄物	廃 油	45	(kl/月)
	廃 酸	—	(kl/月)
	廃アルカリ	—	(kl/月)
	廃プラスチック	0	(kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	—	(kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	—	(kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	—	(kl/月)
一般廃棄物	廃液	—	(t/月)
	紙くず	519	(kg/月)
	木くず	9,150	(kg/月)
	繊維くず	1,500	(kg/月)
	金属くず	4,366	(kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	855	(kg/月)
	一般ごみ	25,569	(kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成29年 9月13日	平成29年 9月13日	平成29年 9月13日
測定結果	855℃	165℃	11ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成 29 年 10 月度）

対象期間： 平成 29 年 10 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 26 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃 油	39 (kl/月)
	廃 酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	480 (kg/月)
	木くず	7,800 (kg/月)
	繊維くず	1,300 (kg/月)
	金属くず	3,744 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	720 (kg/月)
	一般ごみ	22,870 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成29年10月8日	平成29年10月8日	平成29年10月8日
測定結果	923℃	168℃	44ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度 (02 12%換算値)	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成29年11月度）

対象期間： 平成 29 年 11 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日

施設名： 雑芥焼却炉（103B - 101） 稼働日数 30 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	62 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	540 (kg/月)
	木くず	9,000 (kg/月)
	繊維くず	1,500 (kg/月)
	金属くず	6,528 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	600 (kg/月)
	一般ごみ	26,340 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成29年11月23日	平成29年11月23日	平成29年11月23日
測定結果	889℃	171℃	99ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 29 年 10 月 4 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 29 年 11 月 1 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			<b>0.095</b>
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	



**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成29年12月度）

対象期間： 平成 29 年 12月 1日 ～ 平成 29 年 12月 31日

施設名： 雑芥焼却炉 （103B - 101）

稼働日数 26 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量	(単位)
産業廃棄物	廃油	40	(kl/月)
	廃酸	—	(kl/月)
	廃アルカリ	—	(kl/月)
	廃プラスチック	0	(kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	—	(kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	—	(kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	—	(kl/月)
一般廃棄物	廃液	—	(t/月)
	紙くず	537	(kg/月)
	木くず	7,800	(kg/月)
	繊維くず	1,300	(kg/月)
	金属くず	4,066	(kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	0	(kg/月)
	一般ごみ	22,897	(kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置（連続測定記録）

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成29年12月4日	平成29年12月4日	平成29年12月4日
測定結果	921℃	187℃	22ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成30年1月度）

対象期間： 平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 1 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 28 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	40 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	504 (kg/月)
	木くず	8,400 (kg/月)
	繊維くず	1,400 (kg/月)
	金属くず	4,032 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	45 (kg/月)
	一般ごみ	24,584 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成30年1月18日	平成30年1月18日	平成30年1月18日
測定結果	960℃	164℃	11ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成30年2月度）

対象期間： 平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 27 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	42 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	798 (kg/月)
	木くず	8,100 (kg/月)
	繊維くず	1,350 (kg/月)
	金属くず	4,176 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	0 (kg/月)
	一般ごみ	13,770 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成 30 年 2 月 23 日	平成 30 年 2 月 23 日	平成 30 年 2 月 23 日
測定結果	950℃	170℃	50ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	

**産業廃棄物処理施設維持管理記録簿〔焼却〕**（平成30年3月度）

対象期間： 平成 30 年 3 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日

施設名： 雑芥焼却炉 (103B - 101)

稼働日数 26 日

1. 焼却した廃棄物の種類及び数量

種 類		数 量 (単位)
産業廃棄物	廃油	44 (kl/月)
	廃酸	— (kl/月)
	廃アルカリ	— (kl/月)
	廃プラスチック	0 (kg/月)
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油	— (kl/月)
	PH2.0以下の廃酸	— (kl/月)
	PH12.5以上の廃アルカリ	— (kl/月)
一般廃棄物	廃液	— (t/月)
	紙くず	570 (kg/月)
	木くず	7,800 (kg/月)
	繊維くず	1,300 (kg/月)
	金属くず	4,366 (kg/月)
	ガラスくず及び陶磁器くず	0 (kg/月)
	一般ごみ	22,930 (kg/月)

2. 燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置 (連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集塵器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度
測定位置	別紙-1の通り	別紙-1の通り	別紙-1の通り
測定結果が得られた日	平成30年3月5日	平成30年3月5日	平成30年3月5日
測定結果	876℃	162℃	15ppm

3. ばいじんの除去の実施状況と措置

	冷 却 設 備	排ガス処理設備
ばいじんの除去を行った日	連続払い出し	連続払い出し

4. 排ガスの分析結果

		6ヶ月に1回以上	1年に1回以上
採取位置		別紙-1の通り	別紙-1の通り
採取した年月日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日		平成 年 月 日	平成 年 月 日
ダイオキシン類 (ngTEQ/m <sup>3</sup> N)			
ばい煙量又は ばい煙濃度	硫黄酸化物	(Nm <sup>3</sup> /h)	(Nm <sup>3</sup> /h)
	ばいじん	(g/Nm <sup>3</sup> )	(g/Nm <sup>3</sup> )
	塩化水素	(mg/Nm <sup>3</sup> )	(mg/Nm <sup>3</sup> )
	窒素酸化物	(v/vppm)	(v/vppm)

5. もえがら分析結果

	1年に1回以上
採取位置	乾留炉
採取した年月日	平成 年 月 日
測定結果が得られた日	平成 年 月 日
熱しやく減量 (%)	